

○「やまなし」心づくり 研究指定校事業について

「生きる力」とは、変化の激しい社会において、人と協調しつつ自律的に社会生活を送ることができるようになるために必要な、人間として実践力であり、豊かな人間性である。

子どもたちにとって必要とされる豊かな人間性とは、美しいものや自然に感動する心などの柔らかな感性、正義感や公正さを重んじる心、生命を大切にし、人権を尊重する心などの基本的な倫理観、他人を思いやる心や社会貢献の精神、自立心、自己抑制力、責任感、他者との共生や異なるものへの寛容などの感性及び道徳的価値を大切にする心であるにとらえられている。

心の教育は、このような心の育成を図ることであり、その基盤となるのが道徳教育である。

本県においては、「やまなしの教育振興プラン」の重点施策の一つとして、自他への思いやりや情操教育をはぐくむ「豊かな心の育成」が掲げられている。県教育委員会がここで示す「豊かな心」は、前述の「豊かな人間性」と重なるが、「ふるさとに対する愛着と誇り」も、その大事な要素として付け加えられている。

このプランを受け、心の教育のさらなる充実を図るため、家庭・地域との連携の上に、小中学校で連携し、義務教育9年間を見通した道徳教育の実践が展開されつつある。本校は、平成22年度より若草中学校、若草南小学校とともに、このプランの柱である「やまなし」心づくり研究指定校事業において、研究校としての指定を受けた。県教育委員会の指導と支援を受け、3校で連携を図りながら、3年計画でこの研究を積み上げつつ、豊かな心を持った子どもたちの育成を図っていく。

1年目は、「やまなし」心づくり研究指定校事業についての共通理解をもつなかで、道徳についての理論研究を進めてきた。また、低・高2本の研究授業を行った。

2年目である昨年度は、11月の「中間公開研究会」を目標に、各学年1本の研究授業を行い、指導主事を招聘し研究していく中で、授業の組み立て方など実践的な力を積み上げてきた。中間公開研究会では、学年1本ずつの研究授業を公開し、その後3校合同の全体会として明治大学教授、諸富祥彦先生の講演会を行った。

「やまなしの教育振興プラン」が示す《 豊かな心 》

- ・ 美しいものや自然に感動する心等の柔らかな感性
- ・ 規範意識や正義感、公正さを重んじる心
- ・ 生命を大切にし、人権を尊重する心等の基本的な倫理観
- ・ 自他を尊重し、他人を思いやる心や社会的貢献の精神
- ・ 自立心、自己抑制力、責任感
- ・ 他者との共生や異質なものへの寛容等
- ・ ふるさとに対する愛着と誇り

～道徳アンケートより～

若草地区の共通重点内容項目

1 【自分自身に関すること】

思いやり・親切

2 【他の人とかかわりに関すること】

生命尊重

3 【自然や崇高なものとかかわりに関すること】

規則尊重

4 【集団や社会とかかわりに関すること】

郷土愛